



## 創造性検査 : TTMC テスト

堀上, 明  
高橋, 潔

---

**(Issue Date)**

2024-01-09

**(Resource Type)**

other

**(Version)**

Author's Original

**(Rights)**

Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivs 4.0 International License

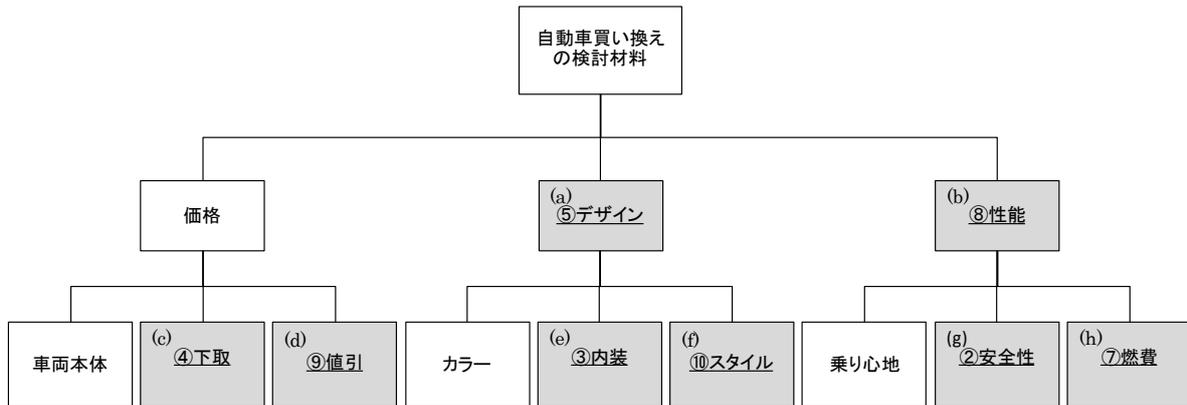
**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100485988>



問 I-1

【解答】



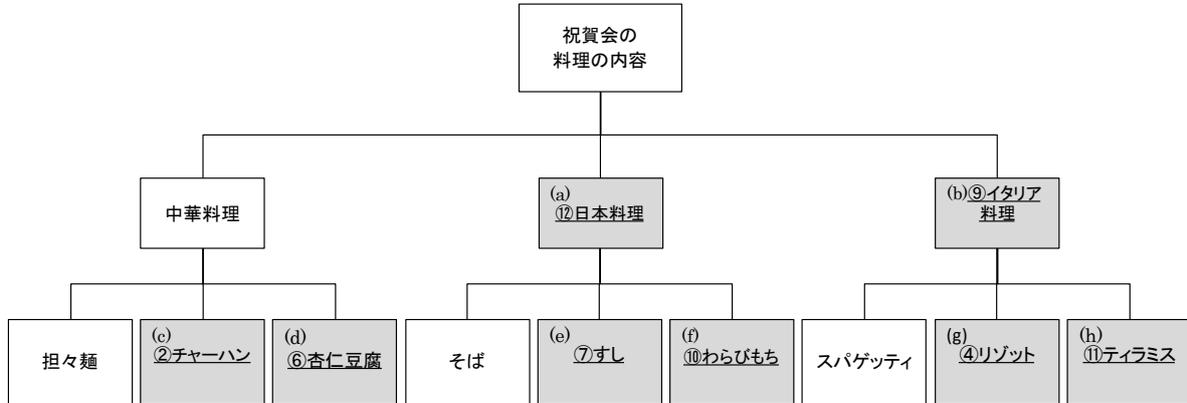
(c)と(d)、(e)と(f)、(g)と(h)は順不同

【採点方法】

- 空欄1つにつき、正解は1，不正解は0を採点シートに記入する。
- 番号だけ記入、番号と名称の両方を記入、名称のみ記入、いずれも正解とする。ただし、両方記入の場合は番号と名称が合っていない場合は不正解とする。
- (c)と(d)について
  - 「④下取」があれば採点シートの(c)側に1を、なければ0を記入する
  - 「⑨値引」があれば採点シートの(d)側に1を、なければ0を記入する。
- (e)と(f)について
  - 「③内装」があれば採点シートの(e)側に1を、なければ0を記入する
  - 「⑩スタイル」があれば採点シートの(f)側に1を、なければ0を記入する。
- (g)と(h)について
  - 「②安全性」があれば採点シートの(g)側に1を、なければ0を記入する
  - 「⑦燃費」があれば採点シートの(h)側に1を、なければ0を記入する。

問 I-2

【解答】



(c)と(d)、(e)と(f)、(g)と(h)は順不同

【採点方法】

- 空欄1つにつき、正解は1，不正解は0を採点シートに記入する。
- 番号だけ記入、番号と名称の両方を記入、名称のみ記入、いずれも正解とする。ただし、両方記入の場合は番号と名称が合っていない場合は不正解とする。
- (c)と(d)について  
「②チャーハン」があれば採点シートの(c)側に1を、なければ0を記入する  
「⑥杏仁豆腐」があれば採点シートの(d)側に1を、なければ0を記入する。
- (e)と(f)について  
「⑦すし」があれば採点シートの(e)側に1を、なければ0を記入する  
「⑩わらびもち」があれば採点シートの(f)側に1を、なければ0を記入する。
- (g)と(h)について  
「④リゾット」があれば採点シートの(g)側に1を、なければ0を記入する  
「⑪ティラミス」があれば採点シートの(h)側に1を、なければ0を記入する。

問 I-3

【解答】

(a) ⑥しかし (b) ②たとえば (c) ④だから

出典：和辻哲郎「風土」（岩波書店 1979 年初版）

【採点方法】

- ・空欄 1 つにつき、正解は 1，不正解は 0 を採点シートに記入する。
- ・番号だけ記入、番号と名称の両方を記入、名称のみ記入、いずれも正解とする。  
ただし、両方記入の場合は番号と名称が合っていない場合は不正解とする。

問 I-4

【解答】

a: ②たとえば b: ⑥しかし c: ⑤そして d: ④したがって e: ⑦もっとも

【採点方法】

- ・空欄 1 つにつき、正解は 1，不正解は 0 を採点シートに記入する。
- ・番号だけ記入、番号と名称の両方を記入、名称のみ記入、いずれも正解とする。  
ただし、両方記入の場合は番号と名称が合っていない場合は不正解とする。

## 問 II-1、2

### 【共通採点基準】

0点：未解答

1点：解答記入あり

2点：上記1点の条件に加えて下記の全ての条件を満たす

- ・「妥当でない」という内容の解答である
- ・理由と結論の両方の記述がある。  
または、理由しか記述されていないが、結論を容易に特定できる
- ・解答内容が題意に照らして妥当である

3点：上記2点の条件に加え、下記の全ての条件を満たす

- ・問題文のどの箇所を批判しているのかが明確である(\*1)
- ・なぜその箇所に問題があるのかについて妥当な理由が示されている

#### (\*1)例

- ・問題文に記述されている前提が誤っていることを指摘している
- ・問題文に記述されている前提と結論は関係がないことを指摘している
- ・問題文に記述されている前提から結論への導きが誤っていることを指摘している

### 【採点方法】

- ・「妥当である」「妥当でない」のどちらを選択しても評価対象とする
- ・(a)(b)(c)それぞれについて評価する（採点終了後に機械的に合計する）

### 【採点のポイント】

(1) 以下のような解答は1点となる

- ・「妥当である」に沿った解答
- ・なぜそのように考えたのか理由が示されていない
- ・なぜそのように考えたのか理由は示されているが、結論が省略されており、その結論を容易に特定できない
- ・理由と結論の間の整合性がとれていない
- ・説明不足等で主張の内容が明確でない、
- ・主張の内容が問題文に沿っていない

(2) 問題文を単に言いかえてあたかも理由であるかのように記述している解答が見受けられるので注意すること

例)

問題文：早く帰宅できるので余暇が充実する

解答例：早く帰宅できる訳ではないので、余暇は充実しない

- 理由と結論が示されており、問題文の「早く帰宅できるので」の箇所に問題があると指摘できているが、なぜ「早く帰宅できる訳ではない」と考えたのかについて理由が欠落している

【具体例】

問 II- 1 (a)

1 点の例

- ・余暇時間が増えても余暇が充実するとは限らない（理由がない）
- ・時間がシフトするだけだから（結論がない、特定も難しい）

2 点の例

- ・仕事は早く終わっても仕事の開始も早くなるので変わらない  
（問題文のどの部分を指摘しているのかがあいまい）

3 点の例

- ・時間がシフトするだけであって早く帰宅できるわけではない
- ・仕事は早く終わっても仕事の開始も早くなるので余暇は充実しない

問 II- 1 (b)

1 点の例

- ・エネルギーは変わらない（理由がない）

2 点の例

- ・家庭での消費電力が増えるので全体のエネルギー消費量は変わらない  
（問題文では「事業所や工場で消費されるエネルギーが減る」と主張しているのであって、全体のエネルギー消費量については言及されていないため、問題文のどこを指摘しているのかが不明確となっている）
- ・生産量や消費エネルギーは変わらないので、環境に対する負荷は変わらない  
（解答の形式として、理由と結論があり、内容も常識的に妥当であると理解できるが、問題文の「事業所や工場で消費されるエネルギーが減る」という主張に対して、なぜ「生産量や消費エネルギーは変わらない」と考えたのか理由が示されていない）

3 点の例

- ・稼働時間がシフトするだけなので事業所や工場の稼働時間は変わらず、そのため消費エネルギーは変わらない

問 II- 1 (c)

1 点の例

- ・睡眠時間は変わらない（説明不足で主張が不明確）
- ・残業時間が減り収入が減少するので経済の活性化にはつながらない  
（サマータイムを導入するとなぜ残業が減るのか理由がない）

2 点の例

- ・時間の使い方が問題なのであって、サマータイム導入の理由と関係ない  
（問題文のどの部分を指摘しているのかが具体的でない）

3 点の例

- ・時間がシフトするだけであって終業後の時間は増えない

問 II-2 (a)

1 点の例

- ・携帯電話があったほうがコミュニケーションは増える（理由がない）
- ・携帯電話の所有と家族とのコミュニケーションは無関係（理由がない）

2 点の例

- ・親の帰宅が遅い場合や離れて暮らしている場合は、携帯電話はコミュニケーション手段となる。

3 点の例

- ・携帯電話はコミュニケーション手段のひとつなので、所有を禁止すると、むしろ家族とのコミュニケーションは減る
- ・携帯電話はコミュニケーション手段のひとつなので、所有を禁止しても家族とのコミュニケーションが増えるわけではない

問 II-2 (b)

1 点の例

- ・PCからインターネットに接続できるから

2 点の例

- ・PCがあればネットに接続できるのでネットによる犯罪やいじめが可能。

3 点の例

- ・携帯の所有を禁止してもPCからネットに接続することができるのでいじめが減るとは限らない

問 II-2 (c)

1 点の例

- ・親の経済状況が違うからといって、携帯電話の所有を禁止するのはきりがない。

2 点の例

- ・親の経済状況が違うのはあたりまえのことなので、そのことを理由に携帯電話の所有を禁止する必要はない。

3 点の例

- ・子どもに携帯電話を持たせると、どのような影響があるのかという観点から考えるべきであって、親の経済状況のよしあしと携帯電話の所有の是非の議論は別のものである。

問 II-3、問 II-4

【共通採点基準】

0点：未解答。

1点：表面上の指摘にとどまっており、何が問題なのか記述がない。

2点：問題点は指摘できているが、図の本質的な問題点は指摘できていない。

3点：図の本質的な問題点（図全体の致命的な欠陥）を指摘している

【採点方法】

・3箇所の解答欄それぞれごとに評価する。

（採点終了後に3箇所の評価の合計と、最高点を機械的に算出する）

【具体例】

問 II-3

1点の例

- ・黄色地に赤色の文字は目がチカチカする
- ・ピクトグラムと文章の内容が合っていない
- ・立っている人に対する注意書きがない
- ・ふりがなを統一すべき

2点の例

- ・色遣いが悪いので注意喚起になっていない
- ・フォントが均一なので何を伝えたいのかわからない
- ・「バスが完全に停車してから」の文字が他の文字と同じ大きさなので目立たない

3点の例

- 車内事故防止という注意書き本来の目的を果たせない可能性を指摘している
  - ・ピクトグラムと文章の内容が合っていないので、何を注意したいのかが伝わらない
  - ・文字サイズや色合いが全体的に同じような感じで使われているので、何を伝えたいのか見えない
  - ・座っている人だけでなく、立っている人にも注意喚起をしなければ車内事故は防止できない
  - ・日本語でしか書かれていないので、外国人には意図が伝わらない
  - ・黄色地に赤色の文字は、色弱の人には読みにくい
  - ・文章が難しいので子どもには書いてあることが伝わらない

## 問 II-4

### 1 点の例

- どんな問題が生じるかを具体的に指摘できていない
  - ・赤い矢印が何をさしているのかわからない
  - ・店舗までに道に目印となる建物が無い
  - ・歩道橋のようなものが描かれているがそれが何なのかわからない
  - ・方角がわからない
  - ・目印が少ないのでわかりにくい（何がわかりにくいのか示されていない）
  - ・赤い矢印だけでは店舗の場所が不明  
（赤い矢印にどんな不備があるのかが、具体的には示されていない）

### 2 点の例

- ・方角が示されていないので、A 駅のどの出口を出ればよいかわからない  
（案内図の特定の部分の問題点を指摘している）
- ・縮尺がないので距離がわからない
- ・縮尺がないので（全体の）距離感がわからない
- ・方位が書かれていないので方角がわからない

### 3 点の例

- この案内図全般に関わる問題点（＝致命的な欠陥）を指摘している
  - ・A 駅から店舗までのルートが示されていないので、どの道をいけば店舗にたどりつくことができるのかわからない
  - ・店舗の場所があいまいなため、駅からの道順がわからない
  - ・店舗までのルートに目印となるものが示されていないので店舗にたどりつくことができない可能性がある
  - ・縮尺がないので店舗までの距離がわからない
  - ・縮尺がないので店舗までの所要時間がわからない
  - ・方角が示されていないので地図の全体感がつかめない
  - ・通りの名前や駅の出口が書かれていないので全体感がつかめない
  - ・赤い矢印があいまいな場所を示しているため、店舗がどこにあるのか不明  
（店舗位置、すなわち目的地の場所が不明というのは、そもそも案内図の役割を果たしていないと考える）

### 問 III 共通採点基準

0点：未解答

1点：問題設定の状況に対する常識的な発想の範囲内での解答。通常ありがちな解答。または、説明不足で意味不明、意図がはっきりしない解答、あるいは無理矢理解答したと思えるような解答

2点：問題設定の状況に対する常識的な発想から少し離れた解答。ひねった解答。このような考え方をする人はそんなに多くはないであろうと思われる解答。

3点：問題設定の状況に対する常識的な発想から大きく逸脱した解答。多くの人はこのような考え方はしない(できない)であろうと思われる解答

#### 【問 III-1、問 III-2 の採点例】

##### 問 III-1

1点の例

会社には、パジャマで来てしまったという事情は伏せたまま、休む、戻って着替える、服を買うなど

2点の例

- ・(帰宅するか否かはともかく) 会社に正直に事情を話す
- ・とりあえずパジャマのまま出社して対応を考える。

3点の例

- ・積極的にパジャマの姿で仕事をする
- ・パジャマのままで、できることをする
- ・パジャマのままで、ごまかしながら仕事をする

##### 問 III-2

1点の例

- ・素直に謝る、正直に話すのみ
- ・ごまかして強引に押し切ろうとする

2点の例

- ・謝るなど、正直に事情を説明した上で会話を進める
- ・謝ったり、正直に事情を話すようなことはしないが、自然に聞き手にまわるなど、上手に切り抜ける

3点の例

- ・不利な状況を逆に活用して見事に切り抜ける

### 【問 III-3、問 III-4 の採点例】

問 III-3、問 III-4 は、解答の自由度が高く、どのような解答が常識的な解答と言えるのかの評価が難しい。そのため解答の出現頻度を参考に評価する。

#### 評価の目安

- 1点：全受検者の10%以上が解答するような内容
- 2点：全受検者の10%未満かつ1%以上が解答するような内容
- 3点：全受検者の1%未満が解答するような内容

たとえば、問 III-3 では「3時のおやつ」というテーマは解答の出現頻度が高いため、原則1点となる。ただし、問題設定状況からは一般には発想しにくいようなセリフやタイトルがつけられているのであれば、内容に応じて加点する。

#### 問 III-3

##### 1点の例

- ・登場人物（コップと時計）をそのまま使ったダジャレ
- ・おやつの時間
- ・コーヒブレイク、ティータイム

##### 2点の例

- ・自分も丸みが欲しいとコップが言っている
- ・ティータイムになると忙しくなるとコップが言っている  
(主題は「ティータイム」で通常1点だが、コップの視点での解答は少ないので2点)
- ・おいしいおやつ買えたかな、とコップが言っている  
(主題は「ティータイム」で通常1点だが、おやつの購入を待つという解答は少ないので2点)

##### 3点の例

- ・コップが時計におおいかぶさって見えなくする

#### 問 III-4

##### 1点の例

- ・会議
- ・こき使われる、使い方が粗い
- ・省エネ、節電

##### 2点の例

- ・片方のPCにマウスがない
- ・こき使われるから自分で再起動する
- ・PCで会議中にゲーム

### 3 点の例

- ・隣のPCにウィルスを感染させる
- ・リース満了
- ・2人（2台）の間柄と距離の関係

### 【問 III-5、問 III-6 の採点例】

問 III-5、6 は選択肢をどれでも何か無理にでも組み合わせればとりあえずは解答できるという特徴がある。解答の出現頻度で評価すると、無理矢理に考えた解答が出現頻度が低く、高評価を得てしまうという弊害があるため、語群を組み合わせでどれだけ変更を加えていることができているのかどうかで評価する。ただし、出現頻度の多い解答は、一般的な認知パターンの発想であると考えられることができる。

### 問 III-5

#### 1 点の例

- ・選択した語句の常識的な機能を組み合わせているだけの場合
  - ・果物のムース、ホイップ
  - ・写真の金庫・保管庫
- ・多くの受検者が解答している商品
  - ・プラスチックの金庫
- ・すでに世の中に存在している、あるいは容易に発想できそうな商品
  - ・クリーニング
  - ・フルーツせっけん、洗剤
  - ・生体（指紋、顔、写真など）認証の金庫

#### 2 点の例

- ・果物エキスのせっけんで、古ぼけた写真を再生する効果がある  
ベースはフルーツのせっけんなので、そのままなら1点となるが、写真の再生という部分がパターン変更として評価できる

#### 3 点の例

- ・鍵を閉める時に写真を取り、開ける時も同じ写真を撮影しないと開かない金庫  
ベースは写真認証の金庫なので、そのままなら1点となるが「鍵は固定である」、という一般的な常識を離れた大幅なパターン変更として評価できる

### 問 III-6

#### 1 点の例

- ・選択した語句の常識的な機能を組み合わせているだけの場合
  - ・靴下と消臭
  - ・靴下とサンタクロース

- ・多くの受検者が解答しているサービスの場合
  - ・エスカレータで伝言・掲示板サービス
  - ・エスカレータでコーヒーを出すサービス
  - ・コーヒーで消臭
- ・すでに世の中に存在しているサービス、あるいは容易に発想できるサービス
  - ・宅配
  - ・コーヒーに伝言を書く

## 2点の例

- ・エスカレータに乗っている間に、足裏をマッサージするサービス
- ・百貨店の休憩所や踊り場にコーヒーを運ぶサービス
- ・エスカレータの各段に各国のコーヒーが置いてあり、自分で選んで飲めるサービス
 

ベースはエスカレータでコーヒーを出すサービスなので、そのままなら1点となるが各段に国別のコーヒーがあるという部分がパターン変更として評価できる
- ・恋人など決まった人と一緒に来店したときに、コーヒーにメッセージを出すサービス
 

ベースはコーヒーに伝言を書くサービスなので、そのままなら1点となるが、ある特定の状況下でサービスするという部分がパターン変更として評価できる

## 3点の例

- ・冬に外で働く作業員を対象に、コンビニの飲料売り場であたためた靴下を販売する
- ・昇りエスカレータに乗っている間に、下りエスカレータに客の意中の人を乗せ、すれちがう間に思いを伝えることでできるようにするサービス
- ・エスカレータの乗り口でコーヒーを注文しておき、降りる時に受け取ることができ、エスカレータの事故もなくなる
 

ベースはエスカレータでコーヒーを出すサービスなので、そのままなら1点となるが降りる時にコーヒーを受け取るサービスであるため、急いで上にあがっても商品はまだできていない可能性がある。そのため、乗客はエスカレータを歩いて登ることによるトラブルも防ぐことができるという点が、大幅なパターン変更であると評価できる